

九州朝日放送 (KBC) のデータ放送を利用した 情報発信「dボタン広報誌」をご活用ください！



九州朝日放送 (KBC) のデータ放送で市政情報を表示する「dボタン広報誌」。6月から本格運用を実施します。

行橋市内における災害情報のほか、新型コロナウイルス対策や暮らしに関する情報を、いつでもテレビ画面から文字情報で閲覧することができます。ぜひ、ご利用ください。

災害時

- 避難所の開設情報 ●道路の通行止め情報
- 公共交通機関の運休情報 など

新型コロナ対策

- ワクチン接種に関する情報 ●感染予防対策
- 最新の感染状況 など

暮らしに役立つ情報

- イベントの開催・休止
- ごみ収集に関するお知らせ など



使い方はかんたん！

1. テレビのチャンネルをKBC (1ch) にあわせませう。
2. リモコンの「dボタン」を押します。
3. 「dボタン広報誌」を選び、「決定ボタン」を押します。

【問合せ】市秘書課広報係 (Tel 25-9688)

水哉園と周辺を描いた『詩人郵図』



焼。一家離散の災難にあった。仏山は幼い謙澄を不憫に思い、水哉園に引きとった。動乱のため他の塾生達が帰省した

謙澄は慶応元年10歳の時、水哉園に入門したが、翌年の慶応2年8月、長州藩と小倉藩との戦争の際に百姓一揆がおこり、大庄屋の末松家は全

村上仏山

～謙澄との師弟愛～

村上仏山は、「謙遜の人、恭謙、人情に厚い人」といわれている。弟子達に対して「貴君」と丁寧な言葉で呼んでいた。謙澄には「線松君」あるいは「謙一郎君」と呼んでいたであろう。仏山は自ら行いを正し、門弟達にその範を示した。謙澄も師から温かな愛情と薫陶を受け、他人の気持ちがかかる情に厚い人物となった。教育の力はこのように大きい。(文化人末松謙澄を考える会 城戸淳一)

評価されている。謙澄が最後に仏山に会ったのは、明治10年の秋、西南戦争に従軍しての帰りに故郷に立ち寄り、水哉園を訪れた時だった。仏山は大喜びで迎えてくれたが、髪や鬢には白いものが目立ち、顔色も蒼くて衰えを感じさせていた。別れるに及んで、仏山は謙澄の手をかたく握り、はらはらと涙を流して、いつまでも見送っていたという。



謙澄を追ふ人々

題字 棚田看山

昨年、末松謙澄の没後百年にあたって、幅広い分野での活躍をお伝えしました。その続編を連載し、謙澄の人生に大きな影響を与えた人々を紹介いたします。